

# 「心に風を」力作数々



穂波梅太郎さんの作品「僕の話」。大きな本のようなオブジェを開くと、造形と短い言葉が現れる＝神戸市灘区六甲山町、六甲高山植物園（撮影・吉田敦史）

## 六甲ミーツ・アート きょうスタート

六甲山上では毎秋恒例で12回目の芸術祭「六甲ミーツ・アート 芸術散歩」(阪神電鉄など主催)が始まる。「アートで心に風がふく」と掲げ、山上の観光施設12カ所のほか、有馬温泉やJR三ノ宮駅前にも作品展示。国内外の34組が、木々の緑や海の眺望などを背景に、多彩な34点を飾る。

ルナソスの池」は、「廃虚の女王」とも称される旧摩耶観光ホテルに滞在し、雨漏りの水をキャンバスに垂らして絵を仕上げた。建築家安藤忠雄さん設計の「風の家」では、神戸市出身の現代美術家東芋(あづま)さんが天井の空間を拡張するような新作アニメーション作品を上映する。

11月23日まで。六甲高山植物園などは10月16日以降の土日と11月は毎日、夜間ライトアップを実施。会期中無休(六甲山サイレンスリゾートのみ休業日あり)。

観賞パスポートは中学生以上2500円など。インフォメーション ☎078・891・0048

## 芸術の秋到来

「芸術の秋」を彩るアートイベントが11日、神戸市内の2カ所で開幕する。コロナ禍の閉塞感を打ち破るかのような見応えある美術作品がそろった。作家らの創作意欲に触れ、さわやかな気分になれそうだ。

(小林伸哉)

# 金魚とゆらゆら

神戸市東灘区、神戸ファッション美術館の「深堀隆介展『金魚鉢、地球鉢』」(神戸新聞社など主催)では、美術作家深堀隆介さん(48)＝横浜市＝が、金魚が水中を泳いでいるように見える立体的な絵画など約300点を出品した。

金魚すくいの屋台をイメージした新作のインスタレーションを設け「夏祭りのにぎやかさを味わい、金魚と一緒に泳ぐような気分になってほしい」と語る。

11月7日まで。月曜と9月21日は休館(同月20日は開館)。一般千円ほか。同館 ☎078・858・0050

## 深堀隆介展神戸できょう開幕



深堀隆介さんと新作インスタレーション＝神戸市東灘区向洋町中2、神戸ファッション美術館